

# 令和5年度 第2回庄内町振興審議会【会議録】

日 時：令和6年3月25日(月) 午後6時半

場 所：庄内町役場B棟2F会議室2

**出席者：**門松秀樹会長、梅木均委員、斎藤克行委員、渡會正委員、吉田勝紀委員、  
吉田正子委員、阿良直美委員、渡部菜穂子委員、佐藤あゆ子委員  
(事務局) 佐藤企画情報課長、我妻企画情報課長補佐、加藤主任、伊藤主任  
**欠席者：**金子尚毅委員、富樫豊一委員、海藤喜久男委員

## 1 開 会 18:30 佐藤企画情報課長 開会・進行

月末のお忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。先日の分科会ではご苦勞をおかけしたところですが、今日は取りまとめということで、よろしくお願ひしたい。

## 2 会長あいさつ 佐藤藤道子職務代理者 挨拶

会長が遅れるとのことで、行き届かないところがあるかもしれないが、委員の皆さんからのご協力をお願ひしたい。

## 3 報告事項等

事務局：資料確認、本日の日程について説明

## 4 協 議

### (1) 各分科会報告について

事務局：資料1と資料2の見方について説明、3月19日に答申書(案)を送付し22日まで質問・意見を受付したが特になし。

#### ・総務分科会(報告：加藤分科会長)

【委員】総務分科会では、災害等があった場合に備えての意識啓発や防災訓練の実施、また地震や災害等のセミナー等の開催など、みんなで研修して学ぶことができればとの内容でまとめている。また、男女共同参画については、女性の防災の視点の重要性について触れているが、具体的な記載はないがLGBTQなど多様性に含まれるものとしている。その他、記載のとおりであるが質問等があればお願ひしたい。

#### ・産業建設分科会委員(報告：吉田分科会長)

【委員】産業建設分科会の所管する意見答申については、後期基本計画だけで18項目、まち・ひと・しごと総合戦略では5項目、その他で3項目あり、優先順位をつけてその意見を5つに集約する作業をおこなった。着眼点として、達成度や達成評価が低いものを評価していくという形で整理した。

上・下水道、ガス管の整備は、個人負担がありなかなか進んでない現状がありながらも、軽減や周知活動に努めていただきたいということ、農業の後継者問題について、方針やビジョンの必要性和過去にあった農業5団体連絡協議会で将来どうしていくかなど計画の実現性を高めてもらう必要があるということ、事業所や就業者数などのデータを持ち合わせておく必要があるということ、起業家の育成はセミナーの開催など商工会と連携して行うこと、空き家対策は、放置により危険空き家とならないよう数値として把握する必要があること、観光については、体験型需要がもとめられており、オートキャンプ場など気軽に宿泊でき、道の駅に併設するなど、集客や交流関係人口の増加につなげてほしいとの内容である。

#### ・文教厚生分科会(報告：梅木分科会長)

【委員】文教厚生分科会の会議の内容は、会議録に記載しているとおりであるが、補足しながら説明したい。

これまでコロナにより事業等が中止又は見直しされたが、アフターコロナにおいて今後の持続可能な社会の実現の視点により、効果の検証をしながら必要に応じて見直しをすること、小中学校の再編整備の検討が行われているが、今後幼児・保育教育の在り方を検討することとなっており、それに期待するところは大きいところであり、教育を中心としたまちづくりで庄内町としての存在感を強調したいとの意見、地域の高齢者介護を支える体制と介護の人材不足の解消、地域結びつきには、核となるまちづくりセンターの充実を図る必要があること、放課後子ども教室へまちづくりセンターの関わり方、役割に対しての支援の必要性、資料館等の環境整備の必要性、通信環境の整備、充実についてまとめている。その他、文化芸術団体の高齢化等により運営に関して支援をいただきたいなどの意見があった。

【委員】分科会では人口問題の話題が出た割には、全体意見等で触れられていない。少子高齢化などこれからのまちづくりとして触れたほうがいいのか。

【会長】全体意見として加えたほうがいいのかという意見が出たが、他の皆さんの意見はどうか。

【委員】全体意見が昨年の答申と比較し少ないということもあるが、令和4年度答申の(6)のとおり、庄内町に特長を持たせて若い人が住みやすい、子育てしやすいなど残したほうがいいのか。

【委員】個人的には宅地造成については進んでいる理解しており、企業誘致についても文言としては不要と考える。

【委員】宅地造成については、余目地域は進んでいるが、旧立川地区は空き家が多くますます増えている現状があり、進んでいるようには思えないし、全体として進んでいるかといえばまだ足りないのではないか。

【会長】宅地造成について、人口が減少して空き家が増えているという問題と、新たに住む人のために宅地造成をすることは、政策として求められるところが違うと思う。地域毎の進展の違いや人口、居住の格差があるのが今の意見であると思う。

【事務局】宅地造成について意見をいただいているが、過去数年間、宅地開発を行なう民間事業者に補助金を交付しており、その期間においては宅地造成が進んだものと理解している。現在は補助金の交付は行っていないが、地域間格差があり場所によっては進んでいないところもあるのが事実である。そのことを踏まえ、意見とするのかは委員の皆様の判断となる。

【委員】令和4年度の答申を読むと課題の解決の必要性などマイナス部分として触れられているが、町内外に子育て支援など取り組んでいるなど、アピールする内容を入れてはどうか。

【委員】宅地については、総合計画の後期計画 5-2 にあたるが、それに対する意見は出てきていない。分科会で取り上げないものについて、全体意見とするのはどうなのか。全体的な意見であれば、大きく俯瞰したようなものすべきであり、住宅の促進の評価は B ランクとなっているが、それではまだ不足する場合は追加の意見とするなどが必要と考える。個人的には人口問題は重要な課題であり、ヒト・モノ・カネ・情報の4つの経営資源があるが、意見として挙げるとすればその視点で捉えていくことが必要である。

【会長】答申の全体意見としては、総合計画の達成度や評価等を踏まえた観点での答申が必要であり、個別の政策への言及を考えるよりは、経営資源としてのヒト・モノ・カネ・情報のような4つの大きな視点というようなどころから全体意見をまとめ、個別の政策は分科会での議論のベースとしたほうが良いのではないか。

【事務局】集約すると宅地造成や企業誘致など個別のものは全体意見とはせず、少子化対策や人口増などに視点を置き、そのような趣旨で答申としてまとめたい。具体的な記載内容は事務局と会長に一任いただきたい。

【会長】事務局と調整し、文言等を整理し対応したい。

【事務局】文教厚生分科会長から報告のあった内容で、最後の芸術文化に関するものは会議録のとおりその他での発言であったことから、答申として記載はしていない。この内容について含めるべきか確認させてほしい。

【委員】芸文協については答申の中に含めないでいいが、スポーツ、文化など頑張っている子どもたちにその取り扱いや同等の支援を行なうなど格差なく取り組んでほしい。

【委員】この点について、以前から意見として出されていた。文化であってもスポーツであっても、分け隔てない支援として大まかな内容として追加してほしい。

【会長】子どもたちがスポーツ、文化のどちらであっても伸び伸びと自分たちの力を伸ばしていけるような環境の構築に努めていくといったような方向性として、分科会からの意見として追加したい。

【会 長】 総務分科会からの意見の 5 点目について、住宅・定住促進事業について、移住に関する支援を全面的に PR していくために、その上で SNS 等を活用して一長一短の移住者のありのままの声を発信するとあるが、移住者の声が一長一短あるとなってしまうため、良い点も悪い点もすべて含め、移住者のそのままの声を形とするなど、個人的な意見であるが修正いただきたい。

(2) 答申書（案）について

事務局：資料 3 については、答申書の鑑として、これまでの審議の経過や委員名等を記載している。別紙として、只今議論いただいた資料 1 を一部加筆修正し、町長へ答申する予定。

(3) その他

質問・意見等なし

#### 4 協 議

(1) 今後のスケジュール

事務局：答申は、3 月 28 日（木）9:30～で会長のみ対応

(2) 令和 6 年度庄内町振興審議会への諮問について

事務局：資料 4 の、令和 6 年度振興審議会のスケジュール（案）について、令和 6 年度は総合計画の策定に係る諮問と例年の計画の進捗状況に係る諮問を予定している。これまでの審議のサイクルの見直しを行い、各年度の実績に基づき、この内容をもって予算等へ反映するサイクルの方が望ましいこと、庄内町総合計画の議論の時期と重複すること等を踏まえ、令和 6 年度は総合計画の策定に係る部分の諮問を行うことしたい。

質問・意見等なし

#### 5 閉 会 19:45 佐藤企画情報課長

今年度の答申はこれまでの議論を踏まえてまとめていきたい。以上をもちまして、今年度の振興審議会を終了します。